

青瀬地区コミュニティ協議会

団体の紹介・活動の目的

青瀬地区コミュニティ協議会は平成17年4月に設立した広域的コミュニティ組織であり3自治会で構成しています。薩摩川内市下甕島の東海岸沿いに位置し、地域の資源を生かしたまちづくりに取り組んでいます。

当協議会は、「自然を生かし共に協力し合い、活力ある青瀬地区」を目標に、会長をはじめ3自治会を横断的に組織した4部会（青少年部会・福祉部会・環境部会・文化部会）を中心に定例の役員会などの話し合い活動により連携を図りながら、住民一人ひとりの個性や能力、まだまだ眠っている青瀬の自然や歴史などの資源を活かして、過疎化・少子高齢化対策などの地区の課題解決や、地区の活性化のために各事業に取り組んでいます。

活動の内容

地区の活性化とともに自主財源の確保に向けて、ツバキや柑橘類など青瀬の産物を活かしたコミュニティビジネスに取り組んでいます。高齢者も作業に参加してもらうことで生きがいづくりにもつながっています。

また、隣接の西山地区コミュニティ協議会と協力して、地区間をつなぐ古道を再生し「助八古道」を完成させ、合同行事も開催しています。新たな人との繋がりが構築できました。

「何にもないから、何でもできる」をモットーに、できる人ができる事を少しずつ協力しながら、住民一丸となって「みんなに愛される青瀬」を目指しています。

連携・協力している団体など

青瀬地区内の3自治会（瀬尾、南町、堂向）、子ども会育成会、幼稚園・小中学校PTA、高齢者クラブ、郷土芸能保存会、消防団、薩摩川内市観光物産協会、薩摩川内市商工会女性部など

①



「コミュニティビジネス事業」

製造・販売している「椿油」。非加熱一番搾りを使用した自慢の一品です。手間がかかる製造方法ですが、お年寄りが意欲的に協力してくれます。

②



「青瀬の日」

出郷者が一緒に里帰りし旧交を深める機会を設けようと、6月の第1日曜日を「青瀬の日」として定め、交流会を開催しています。思い出話に花を咲かせました。

③



「助八古道を歩こうかい！」

地区内外の人々との交流促進を目的に毎年2月に開催しています。交流会も催し、島内外の地域の枠を超えた新たな人との繋がりが構築できました。

④



「介護コーディネート事業」

毎週火曜日に「なかよしサロン」を開催しています。運動やレクリエーション活動、食事と一緒に作るなど高齢者の楽しみの場となっています。